

全体概要 平成25年7月10日現在

<http://aichitriennale.jp/>

3年に一度を意味するトリエンナーレ。

2013年8月から、いよいよ二回目の国際芸術祭が愛知県で開催されます。

あいちトリエンナーレ2013では、

「揺れる大地—われわれはどこに立っているのか:場所、記憶、そして復活」をテーマに掲げ、東日本大震災を含む、世界各地で起きている社会の変動を意識しつつ、建築的な視点をとり入れながら、国内外の先端的な現代美術、パフォーミングアーツ、オペラを紹介します。

メイン会場の愛知芸術文化センターは、

愛知県美術館と大中小のホールを抱えた巨大な複合施設ですが、期間中は全館が同じテーマに向かって稼働し、フルスペックの力を発揮します。現代美術、パフォーミングアーツ、オペラ、それぞれのファンが混じりあい、いつもは鑑賞しなかった分野にも興味をもつ機会になるでしょう。

名古屋市美術館では、建築家とアーティストが協働して、新しい空間の解釈を提示します。

また、アートが街に飛び出す、まちなか展開では、岡崎市にも会場をもうけます。

普段は美術館に足を運ばない人にとっても、

日常生活の延長で、アートを身近に感じる作品が数多く登場します。

街を歩きながら、すでに存在する建物も、アートと同様、鑑賞して欲しいと思います。

そこで建築ガイドを刊行したり、空間を体験できる建物公開のイベントを実施します。

さらにモバイル・トリエンナーレでは、県内4か所に作品の移動型展示を行います。

あいちトリエンナーレ2013は、アートを楽しむことに加え、

アートを通じて社会を考えること、そして街の魅力を発見するような芸術祭をめざします。

あいちトリエンナーレ2013芸術監督 五十嵐太郎

開催概要

名称

あいちトリエンナーレ2013／Aichi Triennale 2013

テーマ

揺れる大地—われわれはどこに立っているのか:場所、記憶、そして復活
Awakening – Where Are We Standing? – Earth, Memory and Resurrection

芸術監督

五十嵐太郎(東北大学大学院工学研究科教授(都市・建築学))

会期

2013年(平成25年)8月10日(土)～10月27日(日) (79日間)

会場

名古屋地区 愛知芸術文化センター、名古屋市美術館、長者町会場、納屋橋会場、
中央広小路ビル、オアシス21、名古屋テレビ塔など
岡崎地区 東岡崎駅会場、康生会場、松本町会場

主催

あいちトリエンナーレ実行委員会

目次

ご挨拶	P01	チケット情報	P14
開催概要	P02	共催・連携事業	P15
開催目的／主催事業	P03	企画体制／ボランティア	P17
主な特徴	P05	特別協力／後援／助成／協賛／協力／ 会場提供／認定／実行委員会組織	P18
主な会場	P08		
開催スケジュール	P09		
参加アーティスト	P11		

開催目的

- ・新たな芸術の創造・発信により、世界の文化芸術の発展に貢献します。
- ・現代芸術等の普及・教育により、文化芸術の日常生活への浸透を図ります。
- ・文化芸術活動の活発化により、地域の魅力の向上を図ります。

主催事業

国際美術展（現代美術）

- ・国内外から76組のアーティストが出品し、最先端の現代美術を紹介する日本最大級の国際芸術祭です。
- ・愛知芸術文化センターや名古屋市美術館、更には、名古屋市内のまちなか、岡崎市内のまちなかが会場となります。
- ・作家や作品の選定において、「建築」の視点を取り入れています。
- ・愛知・名古屋を象徴するオアシス21や名古屋テレビ塔などで、都市の魅力を増す作品の展示を行います。

企画コンペによる展示

- ・新進作家等を対象にして、公募によって選ばれた企画展示を長者町会場で実施します。
- ・応募総数195件から11企画を選定しました。

映像プログラム

- ・テーマと関連する映像作品を、実験映画、ビデオアート、ドキュメンタリー、アニメーション、劇映画等のジャンル区分を越えた視点から選出し、独自のプログラミングにより提示します。
- ・国内外から20組のアーティスト・団体が参加します。

パフォーミングアーツ

- ・国内外から15組が参加し、最先端のダンス、演劇、音楽を愛知芸術文化センターを中心にまちなかでも上演します。
- ・ジャンルの垣根を越え、ダンス、演劇、造形美術、建築等を架橋する作品を重視します。
- ・今回のテーマは、不条理演劇を代表するサミュエル・ベケットの世界観と大きく相通ずると考え、「われわれが立っている場所を見つめ直す」をコンセプトにベケット的な作品を中心に上演します。

プロデュースオペラ

- ・イタリア人指揮者 カルロ・モンターノと、新進気鋭の演出家 田尾下哲により、イタリアと日本の伝統と文化が交錯して生まれたオペラ「蝶々夫人」を上演します。
- ・日本の旋律が織り込まれた美しい音楽と斬新な舞台空間を、愛知芸術文化センター大ホールで展開します。

演 目：プッチーニ作曲「蝶々夫人」（全2幕、イタリア語上演、日本語字幕付き）
公演日：9月14日(土)、9月16日(月・祝) 両日とも15:00開演

- ・関連事業として、中学・高校生を対象とするゲネプロ公開のほか、高校生以上の一般及び小学4年生～中学3年生を対象とする体験型のオペラ普及事業を実施します。

普及・教育

- ・子どもたちが毎日自由に創作活動するなどアートを体感できる「キッズトリエンナーレ」を開催します。
- ・アートとの出会いを通じて、より多くの子どもたちの感性や創造性の成長に働きかけるため、学校向けプログラムを実施します。
- ・トリエンナーレをより身近に感じてもらうため、アーティストトークやディスカッションなどの「パブリック・プログラム」を実施します。

建築関連プロジェクト

- ・建築の視点からまちの魅力を再発見する機会を提供するため、まちなかの建築物等を解説するガイドブック「あいち建築ガイド」を作成します。
- ・普段一般公開されていない建築物等をガイドツアー形式で紹介する「オープンアーキテクチャー」を実施します。(20件程度)

モバイル・トリエンナーレ(移動型展示)

- ・トリエンナーレ会期中の週末を中心に、参加アーティストの作品25点程度を、県内4か所の文化施設等において巡回展示します。
(入場無料)
- ・トリエンナーレ本展で展示される作品とは異なる作品を期間限定で展示します。
- ・作品展示に併せ、ワークショップなどを開催します。

(開催地及び日程)

開催市町	会 場	日 程
豊 橋 市	穂の国とよはし芸術劇場プラット	8月23日(金)～25日(日)
知 多 市	知多市歴史民俗博物館	9月13日(金)～16日(月・祝)
春日井市	文化フォーラム春日井	9月20日(金)～23日(月・祝)
東 栄 町	旧東部小学校	9月27日(金)～29日(日)

主な出品作家:青木野枝、青野文昭、岡本信治郎、國府 理、竹田尚史、丹羽良徳、彦坂尚嘉、藤森照信、ヤノベケンジ、山下拓也、横山裕一、渡辺 豪

主な特徴

あいちトリエンナーレ2013では、「揺れる大地—われわれはどこに立っているのか:場所、記憶、そして復活」をテーマに掲げ、国内外の先端的な現代美術、パフォーマンスアート、オペラを展開します。

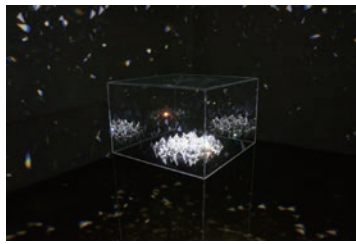
象徴的なテーマ展開

現代美術では、このテーマを受け、多くのアーティストがそれぞれの表現方法で、「場所」「記憶」「復活」に繋がる作品を発表します。

- ・ヤノベケンジは、希望の復活のシンボルともいえる《サン・チャイルド》の展示に加え、美術館の展示室内に華やかな結婚式場を創り出し、ここで実際に挙式を執り行う《太陽の結婚式》を発表します。また、このプロジェクトの作品の一部としてビートたけし原画のステンドグラスやマチスの版画を展示した神殿を構築します。
- ・オノ・ヨーコは、祈りをこめたメッセージとして《生きる喜び》というフレーズをまちなかで展開し、名古屋テレビ塔にネオンサインを掲出します。そのほか、誰もが自分自身の愛や願いを表現することができる《マイ・マミー・イズ・ビューティフル》や《ウィッシュ・ツリー》、光に満ちた空間を生み出す《光の家の部分》など合計5つのプロジェクトを発表します。
- ・アルフレッド・ジャールは、東北の被災地をリサーチし、閉校する学校から黒板を譲り受け、メモリアルとしてのインスタレーションを制作します。また、青木淳との対話と協同作業により、美術館の空間を読みかえるような独自の場をつくりだします。



ヤノベケンジ
《太陽の結婚式》のためのドローイング 2013
©YANOBE Kenji



オノ・ヨーコ
《光の家の部分》1966/2012
courtesy of the artist



アルフレッド・ジャール
「黒板プロジェクト」2013
©Alfredo Jaar

パフォーマンスアートでは、舞台美術と視覚造形美術を架橋する作品を重視し、テーマに沿ったプログラムを上演します。

2013年は、不条理演劇の最高傑作と言われる『ゴドーを待ちながら』の初演から60年の節目に当たります。作者のサミュエル・ベケットの世界観は、今回のテーマに極めて近いものです。今日、「われわれが立っている場所」を見つめ直すために、人間の生と死について思いを凝らした彼の作品ほどふさわしい舞台芸術はありません。いまや現代の古典たるベケットに想を得た作品や、ベケット的な作品を中心に演目を編成。あいちトリエンナーレが委嘱し、世界初演となる作品も多数あります。お楽しみください。

(あいちトリエンナーレ2013パフォーマンス統括プロデューサー 小崎哲哉)

- ・現代の代表的振付家の一人イリ・キリアンは、東日本大震災に心を痛め、ベケットの哲学から着想された新作ダンスを発表します。映像は米国のジェイソン・アキラ・ソンマ、作曲・ピアノはアムステルダム在住の向井山朋子が担当し、ジャンルを超えて被災者への共感を表します。
- ・やなぎみわは、ベケットの戯曲「クラブの最後のテープ」を織り込んだ新作「ゼロ・アワー 東京ローズ最後のテープ」を上演します。また、現代美術展の作品として、一般公募の参加者がワークショップを経て会場で行う「案内嬢プロジェクト」も発表します。



イリ・キリアン
courtesy of the Kylian Foundation



やなぎみわ
「ゼロ・アワー 東京ローズ最後のテープ」
photo:木村三晴

プロデュースオペラでは、新進気鋭の演出家が、「蝶々夫人」を揺れるアイデンティティーの問題として描きます。

プッチーニは一度も訪れることのなかった日本をファンタジーによって思い描き、『蝶々夫人』を作曲しました。「君が代」、「さくらさくら」、「お江戸日本橋」、「越後獅子」、「宮さん宮さん」などの日本のメロディーが印象的に使われ、日本家屋の木や紙で出来ている様子、間仕切りを動かすことで変わる空間の柔軟さをオーケストラが軽やかに、カノン形式で冒頭から表します。悲運の恋に生きた一人の日本人女性「蝶々さん」がどのように恋に生き、名譽に死んだのか。アメリカ人兵士と結婚したと信じ、自分をアメリカ人と信じる蝶々さんが最後は武士の娘として、日本人として自決する。揺れるアイデンティティーの問題として描きたいと思います。

(演出家 田尾下 哲)

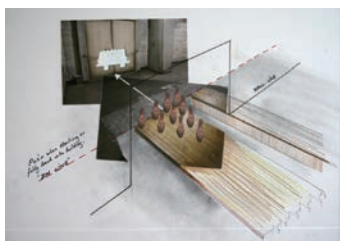
建築の視点の導入

作家や作品の選定において、「建築」の視点を取り入れています。

- ・建築に大胆に介入する作品で知られるリチャード・ウィルソンは、納屋橋の、かつてボウリング場だった建物で、レーンが外壁の外へ平行移動するダイナミックな作品を発表します。
- ・青木淳は、黒川紀章設計による名古屋市美術館の空間を再構築し、新しい解釈によって空間や動線の一時的なリノベーションを行います。

普段公開されていない建物をガイドツアー形式の「オープンアーキテクチャー」で紹介します。

- ・現代美術の参加アーティストで若手建築家のユニットstudio velocityによる「愛知産業大学言語・情報共有センター」(岡崎市)や、エンジニアであった故・川合健二が考案した大地に転がるドラム缶のような家「コルゲートハウス」(豊橋市)、愛知県指定文化財である「四間道・伊藤家住宅」(名古屋市西区)など、普段公開されていない建物をガイドツアー形式の「オープンアーキテクチャー」で紹介し、その魅力を共有します。



リチャード・ウィルソン
Plan drawing for 《Lane 61》, 2013



青木 淳
あいちトリエンナーレ2013のためのプラン



愛知産業大学言語・情報共有センター(岡崎市)

まちなか展開の拡大

前回のトリエンナーレでも賑わった名古屋市内のまちなか会場に加えて、今回は岡崎市内のまちなかも会場となります。

- ・長者町会場では、奈良美智と彼の仲間たち「THE WE-LOWS」が空きビルにカフェ空間を作り、そこにアートを展示することで、アートとの新しい関係を提案します。
- ・納屋橋会場では、名和晃平が、彼の作品の進化形でもある最先端の造形を発表します。
- ・岡崎の康生会場では、同市出身の志賀理江子が、仙台で開催した個展「螺旋海岸」を、会場となる岡崎シビコ6階の空間にあわせた新たな構成で発表。地元では初めての大規模な展示となります。
- ・松本町会場では、青木野枝が、松應寺の前に作られた木造のアーケードと、それに隣接する旧美容室を利用して展示を行います。



名和晃平
《PixCell-(White)》2003
courtesy of Gallery Nomart, Osaka
photo: Haruo Kaneko



志賀理江子
「螺旋海岸」2012-2013
せんだいメディアテークでの展示風景
courtesy of the artist



青木野枝
《ふりそそぐもの-娛樂室》2013
大原美術館・有隣荘での展示風景
photo:山本糾

普及・教育の充実

子どもたちがアートを体感できる場としてキッズトリエンナーレを実施します。

- ・子どもたちが自由に創作活動を行うなど、アートを体験できるスタジオを愛知県美術館8階ギャラリーJ室に開設します。週末や夏休み期間中には参加アーティスト自ら講師となる企画をはじめ、子どもや親子を対象としたワークショップ(27企画)を実施します。



参加アーティストを学校に派遣し、児童・生徒と一緒に制作活動を行います。

- ・アートとの出会いを通じて、より多くの子どもたちの感性や創造性の成長に働きかけるため、アーティストを学校に派遣します。また、そこでの制作活動がアーティストの出品作品に反映されます。
- ・授業、校外学習など様々な学校行事を活用して、児童・生徒に世界最先端の現代美術に触れてもらうため、学校向け団体鑑賞プログラムを実施します。



トリエンナーレをより身近に感じてもらうため、「パブリック・プログラム」を開催します。

- ・参加アーティストによるトークやディスカッションなどを通してトリエンナーレに深くアプローチし、考え方の広がりや変化を促すとともに、現代社会とアートとの関係について考える機会を提供します。(40企画程度)

主な会場

名古屋地区



愛知芸術文化センター

愛知県美術館と、本格的なオペラを上演可能な大ホール、小ホールやコンサートホールなどが複合した日本屈指の大規模文化芸術施設。1992年開館。

名古屋市東区東桜1-13-2

開館時間 10:00～18:00(金曜～20:00)

休館日 毎週月曜(祝日の場合はその翌日)※8/12、26、10/15、21は臨時開館



名古屋市美術館

名古屋中心部の緑豊かな白川公園のなかにある美術館。黒川紀章の代表作として名高い。1988年開館。

名古屋市中区栄2-17-25

開館時間 9:30～17:00(金曜～20:00)

休館日 毎週月曜(祝日の場合はその翌日)※8/12、10/21は臨時開館



長者町会場

名古屋の中心地・栄と名古屋駅の間に位置する。江戸時代には城下の中心地として栄え、戦後は日本三大繊維問屋街の一つとして発展。あいちトリエンナーレ2010のまちなか会場でもあった。

名古屋市中区錦2など

開館時間 11:00～19:00(金曜～20:00)

休館日 なし



納屋橋会場

納屋橋の南に位置する、ボウリング場として建設された建物。

あいちトリエンナーレ2010のまちなか会場でもあった。

名古屋市中区栄1-2

開館時間 11:00～19:00(金曜～20:00)

休館日 8/19、9月の毎週月曜(祝日の場合はその翌日)、10/7

岡崎地区



東岡崎駅会場

岡崎市の玄関口として中心市街地に位置する名古屋鉄道の駅。

駅ビルに展示。

岡崎市明大寺本町4

開館時間 11:00～19:00(金曜～20:00)

休館日 第2・4水曜



康生会場

徳川家康公の生誕地・岡崎城の城下町、東海道の宿場町として発展してきた中心市街地。三河武士発祥の地としても知られる。ショッピングセンターや空き店舗に展示。

岡崎市康生通東、岡崎市康生通西、岡崎市連尺通

開館時間 11:00～19:00

休館日 8/22、9/19、10/17



松本町会場

かつて花街として栄え、狭い路地や木造アーケードから昭和の香りがただよ町並み。松應寺周辺のアーケードや空きスペースに展示。

岡崎市松本町

開館時間 11:00～19:00

休館日 8/22、9/19、10/17

開催スケジュール

国際美術展(現代美術)スケジュール

会場	内容	開催日
愛知芸術文化センター(愛知県美術館、アトスペースなど)	国際美術展／キッズトリエンナーレ／パブリック・プログラム	8月10日(土)～10月27日(日)
名古屋市美術館	国際美術展	
長者町会場	国際美術展／企画コンペ	
納屋橋会場	国際美術展	
東岡崎駅会場 康生会場 松本町会場	国際美術展	
トリエンナーレ会場周辺(オアシス21、名古屋テレビ塔など)の都市空間	国際美術展	

パフォーミングアーツ(愛知芸術文化センター小ホール等公演)スケジュール

(1) 愛知芸術文化センター小ホール

団体名等	演目	公演日
ままごと	「日本の大人」(世界初演)	8月10日(土)～15日(木)
藤本隆行+白井 剛	「Node／砂漠の老人」(劇場版世界初演)	8月23日(金)～25日(日)
やなぎみわ	「ゼロ・アワー 東京ローズ最後のテープ」(新作)	8月30日(金)～9月1日(日)
梅田宏明	「4. temporal pattern」(日本初演)／「Holistic Strata」	9月6日(金)～8日(日)
イリ・キリアン	「East Shadow」(世界初演)	9月14日(土)～16日(月・祝)
アルチュール・ノジエル(オルレアン国立演劇センター)	「L'IMAGE」(日本初演)	9月22日(日)、9月23日(月・祝)
清水靖晃+カール・ストーン	「Just Breathing」	9月28日(土)
ARICA+金氏徹平	「しあわせな日々」(新訳初演)	10月12日(土)～14日(月・祝)
ジェコ・シオンボ	「Terima Kos (Room Exit)」(日本初演)	10月18日(金)～20日(日)
マチルド・モニエ	「ビュディック・アシッド」／「エクスタシス」(日本初演)	10月26日(土)、27日(日)

(2) 愛知芸術文化センター小ホール周辺

団体名等	演目	公演日
サミュエル・ベケット	「クワッド」(予定)	8月10日(土)～10月27日(日)

(3) 愛知県美術館 ギャラリーG

団体名等	演目	公演日
ペーター・ヴェルツ+ウィリアム・フォーサイス	「whenever on on on nohow on airdrawing」 (日本初公開)(映像インスタレーション)	8月10日(土)～10月27日(日)

パフォーミングアーツ(まちなか公演)スケジュール

(1) 岡崎地区 康生会場 岡崎シビコ

団体名等	演目	公演日
向井山朋子+ジャン・カルマン	「FALLING」(世界初演)(インスタレーション／パフォーマンス)	8月10日(土)～10月27日(日) 週末ごとにパフォーマンス有

(2) オアシス21

団体名等	演目	公演日
プロジェクトFUKUSHIMA! (総合ディレクション:大友良英)	「フェスティバルFUKUSHIMA in AICHI!」	9月7日(土)、8日(日)

(3) 長者町会場周辺

団体名等	演目	公演日
ほうほう堂	「ほうほう堂@おつかい」(新作)	9月21日(土)、9月22日(日)

プロデュースオペラスケジュール

会場	演目	公演日
愛知芸術文化センター大ホール	ブッチーニ作曲「蝶々夫人」	9月14日(土)、16日(月・祝)

映像プログラムスケジュール

会場	内容	開催日
松本町会場	映像プログラム	9月22日(日)
愛知産業大学言語・情報共育センター(岡崎市)	映像プログラム	9月25日(水)～10月17日(木)
長者町会場	ライブ・パフォーマンス	10月19日(土)

オープンアーキテクチャー

会場	開催日	備考
愛知芸術文化センター(名古屋市東区)	8月15日(木)	
愛知産業大学言語・情報共育センター(岡崎市)	8月21日(水)	設計=栗原健太郎+岩月美穂/studio velocity ★
喫茶エーデルワイス(名古屋市東区)	8月24日(土)	
ボンボン桜山店(名古屋市昭和区)		
爲三郎記念館(古川美術館分館)(名古屋市千種区)	8月28日(水)	
四間道・伊藤家住宅(名古屋市西区)※個人邸	9月1日(日)	
CmSOHO/The Garden覚王山(名古屋市千種区)※個人邸	9月7日(土)	設計=吉村昭範+吉村真基/D.I.G Architects
M House(名古屋市千種区)※個人邸	9月7日(土)	設計=吉村昭範+吉村真基/D.I.G Architects
丸栄(名古屋市中区)	9月8日(日)	設計=村野藤吾/村野・森建築事務所
名古屋市美術館(名古屋市中区)	9月14日(土)	設計=黒川紀章建築都市設計事務所、名古屋市建築局
都市に開いていく家(名古屋市瑞穂区)※個人邸	9月15日(日)	設計=栗原健太郎+岩月美穂/studio velocity ★
名古屋陶磁器会館(名古屋市東区)	9月27日(金)、9月28日(土)	
コルゲートハウス(豊橋市)※個人邸	10月5日(土)	設計=川合健二
透明な地形(岡崎市)※個人邸	10月12日(土)	設計=南川祐輝建築事務所
bird house(名古屋市)※個人邸	10月13日(日)	設計=宮本佳明建築設計事務所 ★

★ あいちトリエンナーレ2013参加アーティスト

参加アーティスト ※アルファベット順

現代美術

	名前(日/英)	生年	出身地(国)	ジャンル	会場	
1	青木 淳 AOKI Jun	1956年	日本	建築	市美	
2	青木野枝 AOKI Noe	1958年	日本	彫刻	納屋橋・松本	
3	青野文昭 AONO Fumiaki	1968年	日本	彫刻	芸文	
4	荒井理行 ARAI Masayuki	1984年	アメリカ	絵画	納屋橋	
5	ブラスト・セオリー Blast Theory	1991年設立	イギリス	映像、インスタレーション	若宮大通公園	
6	ジャネット・カーディフ& ジョージ・ビュレス・ミラー Janet CARDIFF and George BURES MILLER	1957年 1960年	カナダ	サウンドインスタレーション	芸文	
7	ステファン・クチュリエ Stéphane COUTURIER	1957年	フランス	写真	芸文	
8	ミッチ・エプスタイン Mitch EPSTEIN	1952年	アメリカ	写真	芸文	
9	ニナ・フィッシャー& マロアン・エル・サニ Nina FISCHER and Maroan EL SANI	1965年 1966年	ドイツ	映像インスタレーション	芸文	
10	藤森照信 FUJIMORI Terunobu	1946年	日本	建築	市美	
11	藤村龍至 FUJIMURA Ryuji	1976年	日本	建築	中央広小路ビル	
12	マーロン・グリフィス Marlon GRIFFITH	1976年	トリニダード・トバゴ	パフォーマンス	長者町	
13	ゲッラ・デ・ラ・パス Guerra de la Paz	アライン・ゲッパ1968年 ネラルド・デ・ラ・パス1955年	キューバ	インスタレーション	東岡崎	
14	ハン・フェン HAN Feng	1972年	中国	絵画、インスタレーション	芸文	
15	彦坂尚嘉 HIKOSAKA Naoyoshi	1946年	日本	絵画、建築	芸文	
16	平川祐樹 HIRAKAWA Youki	1983年	日本	映像インスタレーション	康生	
17	平田五郎 HIRATA Goro	1965年	日本	彫刻	芸文	
18	トーマス・ヒルシュホルン Thomas HIRSCHHORN	1957年	スイス	インスタレーション	芸文	
19	池田剛介 IKEDA Kosuke	1980年	日本	サウンドインスタレーション	納屋橋	
20	インヴィジブル・プレイグラウンド Invisible Playground	2009年結成	ドイツ	プロジェクト	芸文・市美・長者町・康生	
21	伊坂義夫、大坪美穂、岡本信治郎、 小堀令子、清水洋子、白井美穂、 松本旻、山口啓介、王舒野、 PYTHAGORAS ³ (覆面作家)	ISAKA Yoshio, OTSUBO Miho, OKAMOTO Shinjiro, KOBORI Reiko, SHIMIZU Yoko, SHIRAI Mio, MATSUMOTO Akira, YAMAGUCHI Keisuke, WANG Shuye, PYTHAGORAS ³	2003年制作開始	日本	絵画	芸文
22	石上純也 ISHIGAMI Junya	1974年	日本	建築	芸文	
23	アルフレッド・ジャー Alfredo JAAR	1956年	チリ	インスタレーション	市美	
24	ミハイル・カリキス& ウリエル・オルロー Mikhail KARIKIS and Uriel ORLOW	1975年 1973年	ギリシャ イス	映像	納屋橋	
25	片山真理 KATAYAMA Mari	1987年	日本	インスタレーション	納屋橋	
26	國府 理 KOKUFU Osamu	1970年	日本	インスタレーション	中央広小路ビル	
27	レッド・ペンシル・スタジオ LEAD PENCIL STUDIO	1997年結成	アメリカ	建築	康生	
28	イ・ブル LEE Bul	1964年	韓国	インスタレーション	市美	
29	ニッキ・ルナ Nikki LUNA	1977年	フィリピン	インスタレーション	芸文	
30	バシーア・マクール Bashir MAKHOUL	1963年	パレスチナ	インスタレーション	康生	
31	アンジェリカ・メシティ Angelica MESITI	1976年	オーストラリア	映像インスタレーション	納屋橋	
32	アーノウト・ミック Aernout MIK	1962年	オランダ	映像インスタレーション	芸文	
33	宮本佳明 MIYAMOTO Katsuhiko	1961年	日本	建築	芸文	
34	Nadegata Instant Party (中崎透+山城大督 +野田智子)	Nadegata Instant Party (NAKAZAKI Tohru + YAMASHIRO Daisuke + NODA Tomoko)	2006活動開始	日本	プロジェクト	長者町
35	奈良美智 NARA Yoshitomo	1959年	日本	プロジェクト	長者町	
36	名和晃平 NAWA Kohei	1975年	日本	彫刻、インスタレーション	納屋橋	
37	新美泰史 NIIMI Taishi	1975年	日本	絵画	長者町・納屋橋	
38	西岳 弘貴 NISHITAKE Hiroki	1984年	日本	インスタレーション	長者町	
39	丹羽良徳 NIWA Yoshinori	1982年	日本	映像インスタレーション	芸文・長者町・松本	
40	クリスティナ・ノルマン Kristina NORMAN	1979年	エストニア	インスタレーション	納屋橋	
41	岡本信治郎 OKAMOTO Shinjiro	1933年	日本	絵画	芸文	
42	オノ・ヨーコ ONO Yoko	1933年	日本	インスタレーション	芸文・東岡崎・名古屋テレビ塔ほか	
43	打開連合設計事務所 Open United Studio	2001年設立	台湾	建築	長者町	
44	コーネリア・パーカー Cornelia PARKER	1956年	イギリス	インスタレーション	芸文	
45	ニラ・ペレグ Nira PEREG	1969年	イスラエル	映像インスタレーション	納屋橋	
46	ダン・ペルジョヴスキ Dan PERJOVSKI	1961年	ルーマニア	インスタレーション	芸文	
47	ウィット・ピムカンチャナポン Wit PIMKANCHANAPONG	1976年	タイ	インスタレーション	長者町	
48	ニコラス・プロヴォスト Nicolas PROVOST	1969年	ベルギー	映像	芸文	
49	ワリッド・ラード Walid RAAD	1967年	レバノン	インスタレーション	市美	
50	フィリップ・ラメット Philippe RAMETTE	1961年	フランス	ドローイング、写真、彫刻	芸文	
51	リアス・アーク美術館 Rias Ark Museum of Art	1994年開館	日本	インスタレーション	芸文	

芸文=愛知芸術文化センター／市美=名古屋市美術館／長者町=長者町会場／納屋橋=納屋橋会場／東岡崎=東岡崎駅会場／康生=康生会場／松本=松本町会場

	名前(日/英)	生年	出身地(国)	ジャンル	会場
52	リゴ23 Rigo 23	1966年	ポルトガル領マデイラ島	絵画	長者町
53	アリエル・シュレジンガー Ariel SCHLESINGER	1980年	イスラエル	インスタレーション	康生
54	カスパー・アストラップ・シュレーダー+ BIG Kaspar Astrup SCHRÖDER + BIG	1979年 BIG 2006年設立	デンマーク	映像	芸文
55	ソ・ミンジョン SEO Min-jeong	1972年	韓国	インスタレーション	芸文
56	志賀理江子 SHIGA Lieko	1980年	日本	写真	康生
57	下道基行 SHITAMICHI Motoyuki	1978年	日本	インスタレーション	納屋橋
58	シュカルト Škart	1990年結成	セルビア	インスタレーション	長者町
59	フロリアン・スロタワ Florian SLOTAWA	1972年	ドイツ	映像	芸文
60	ソン・ドン SONG Dong	1966年	中国	インスタレーション	芸文
61	studio velocity / 栗原健太郎+ 岩月美穂 KURIHARA Kentaro + IWATSUKI Miho	2006年設立	日本	建築	康生
62	菅沼朋香 SUGANUMA Tomoka	1986年	日本	インスタレーション	長者町
63	杉戸 洋 SUGITO Hiroshi	1970年	日本	絵画	市美
64	ミカ・ターニラ Mika TAANILA	1965年	フィンランド	映像インスタレーション	芸文
65	高橋匡太 TAKAHASHI Kyota	1970年	日本	インスタレーション	栄エリア
66	竹田尚史 TAKEDA Hisashi	1976年	日本	インスタレーション	納屋橋
67	ブーン・スィ・タントロンシン Boonsri TANGTRONGSIN	1978年	タイ	映像	芸文・市美・長者町・納屋橋・東岡崎・康生
68	渡辺 豪 WATANABE Go	1975年	日本	映像	芸文
69	和田礼治郎 WADA Reijiro	1977年	日本	彫刻	オアシス21
70	リチャード・ウィルソン Richard WILSON	1953年	イギリス	インスタレーション	納屋橋
71	ケーシー・ウォン Kacey WONG	1970年	中国	インスタレーション	長者町
72	山下拓也 YAMASHITA Takuya	1985年	日本	インスタレーション	長者町・松本
73	やなぎみわ YANAGI Miwa	—	日本	プロジェクト	芸文
74	ヤノベケンジ YANOBE Kenji	1965年	日本	彫刻、インスタレーション	芸文
75	横山裕一 YOKOYAMA Yuichi	1967年	日本	絵画	長者町
76	米田知子 YONEDA Tomoko	1965年	日本	写真	芸文

パフォーミングアーツ

	名前(日/英)	生年	出身地(国)	公演場所
1	ARICA+ 金氏徹平 ARICA + KANEUJI Teppei	2001年結成 1978年	日本	愛知芸術文化センター小ホール
2	サミュエル・ベケット Samuel BECKETT	1906年	アイルランド	愛知芸術文化センター小ホール周辺
3	藤本隆行+ 白井 剛 FUJIMOTO Takayuki + SHIRAI Tsuyoshi	— —	日本 日本	愛知芸術文化センター小ホール
4	ほうほう堂 Ho Ho-Do	2001年結成	日本	長者町会場周辺
5	イリ・キリアン Jiri KYLIÁN	1947年	チェコ	愛知芸術文化センター小ホール
6	ままごと mamagoto	2009年結成	日本	愛知芸術文化センター小ホール
7	マチルド・モニエ Mathilde MONNIER	1959年	フランス	愛知芸術文化センター小ホール
8	向井山朋子+ ジャン・カルマン MUKAIYAMA Tomoko + Jean KALMAN	— 1945年	日本 フランス	岡崎地区康生会場岡崎シビコ
9	アルチュール・ノジシエル (オルレアン国立演劇センター) Arthur NAUZYCIEL (Centre Dramatique National Orléans)	1967年	フランス	愛知芸術文化センター小ホール
10	プロジェクトFUKUSHIMA! (総合ディレクション:大友良英) PROJECT FUKUSHIMA! (directed by OTOMO Yoshihide)	2011年結成	日本	オアシス21
11	清水靖晃+ カール・ストーン SHIMIZU Yasuaki + Carl STONE	1954年 1953年	日本 アメリカ	愛知芸術文化センター小ホール
12	ジェコ・シオンボ Jecko SIOMPO	1975年	インドネシア	愛知芸術文化センター小ホール
13	梅田宏明 UMEDA Hiroaki	1977年	日本	愛知芸術文化センター小ホール
14	ペーター・ヴェルツ+ ウィリアム・フォーサイス Peter WELZ + William FORSYTHE	1972年 1949年	ドイツ アメリカ	愛知県美術館 ギャラリーG
15	やなぎみわ YANAGI Miwa	—	日本	愛知芸術文化センター小ホール

プロデュースオペラ「蝶々夫人」

	名前(日/英)		役	生年	出身地(国)
1	カルロ・モンタナーロ	Carlo MONTANARO	指揮	1969年	イタリア
2	田尾下 哲	TAOSHITA Tetsu	演出	1972年	日本
3	安藤赴美子	ANDO Fumiko	蝶々さん	—	日本
4	カルロ・バリッチェリ	Carlo BARRICELLI	ピンカートン	—	イタリア
5	ガブリエーレ・ヴィヴィアーニ	Gabriele VIVIANI	シャープレス	—	イタリア
6	田村由貴絵	TAMURA Yukie	スズキ	—	日本

映像プログラム

	名前(日/英)		生年	出身地(国)
1	ポール・コス	Paul COS	1942年	アメリカ
2	ミケランジェロ・フランマルティーノ	Michelangelo FRAMMARTINO	1968年	イタリア
3	福井琢也	FUKUI Takuya	1977年	日本
4	濱口竜介+	HAMAGUCHI Ryusuke +	1978年	日本
	酒井 耕	SAKAI Ko	1979年	
5	姫田真武	HIMEDA Manabu	1988年	日本
6	ひらのりょう	HIRANO Ryo	1988年	日本
7	細江英公	HOSOE Eikoh	1933年	日本
8	加藤秀則	KATO Hidenori	1991年	日本
9	川口恵里	KAWAGUCHI Eri	1989年	日本
10	久保田成子	KUBOTA Shigeko	1937年	日本
11	三宅 唱	MIYAKE Sho	1984年	日本
12	ビル・モリソン	Bill MORRISON	1965年	アメリカ
13	室谷心太郎	MUROYA Shintaro	1987年	日本
14	ぬQ	Nukyu	—	日本
15	パールフィ・ジョルジ	PALFI Gyorgy	1974年	ハンガリー
16	アリソン・シュルニック	Allison SCHULNIK	1978年	アメリカ
17	SjQ++	SjQ++	2012年結成	日本
18	エマ・ドゥ・スワーフ+	Emma De SWAEF +	1985年	ベルギー 南アフリカ
	マーク・ジェイムス・ロエルス	Marc James ROELS	1978年	
19	土本典昭	TSUCHIMOTO Noriaki	1928年	日本
20	チャオ・イエ	ZHAO Ye	1979年	中国

企画コンペ ※展示会場は全て長者町会場

	名前(日/英)		生年(設立年)	出身地(国)	展示会場詳細
1	AMR (Art Media Room)	AMR (Art Media Room)	2012年結成	日本	丹羽幸株式会社ミクス館ショーウィンドウ
2	ASIT	ASIT	2012年結成	日本	長者町地区内
3	長者町くん	CHOJAMACHI-KUN	2009年結成	日本	長者町地区内
4	カリ・コンテ	Kari CONTE	—	アメリカ	伏見地下街
5	EAT&ART TARO+	EAT&ART TARO +	2013年結成	日本	長者町地区内
	東山佳永	TOUYAMA Kae			
6	増山士郎	MASUYAMA Shiro	1971年	日本	ARTISANビル1階内壁
7	松藤孝一	MATSUFUJI Koichi	1973年	日本	伏見地下街
8	水野里奈	MIZUNO Rina	1989年	日本	ARTISANビル1階内壁
9	Orrorin	Orrorin	2012年結成	日本	伏見地下街
10	新藤君平	SHINDO Kumpei	1983年	日本	丹羽幸株式会社ミクス館ショーウィンドウ
11	タムラサトル	TAMURA Satoru	1972年	日本	伏見地下街

チケット情報

国際美術展(現代美術)

○前売券 販売期間 5月1日(水)～8月9日(金)

普通チケット	一般	¥1,400	大学生	¥1,000	高校生	¥500
ペアチケット	一般	¥2,600				
フリーパス	一般	¥3,000	大学生	¥2,000	高校生	¥1,000

○当日券 販売期間 8月10日(土)～10月27日(日)

普通チケット	一般	¥1,800	大学生	¥1,300	高校生	¥700
団体割引チケット	一般	¥1,400	大学生	¥1,000	高校生	¥400
フリーパス	一般	¥3,500	大学生	¥2,500	高校生	¥1,200

※中学生以下無料。 ※普通チケット1枚で全ての会場の国際美術展に入場可(各会場、入場当日に限り再入場可。会場ごとに日を替えて入場可。)
※ペアチケットは普通チケット2枚綴り、切り離して利用可。 ※フリーパスは、記名の本人に限り、全ての会場の国際美術展に何度でも入場可。
※この他に、岡崎地区のみを観覧できるチケット(高校生以上300円、当日券のみ)を販売。

チケット取り扱い

愛知芸術文化センター内プレイガイド TEL.052-972-0430

チケットぴあ TEL.0570-02-9999(Pコード:765-634) セブン-イレブン、サークルK・サンクス、ぴあのお店

ローソンチケット(前売券・当日券Lコード:47979) ローソン、ミニストップ

イープラスe+ (<http://eplus.jp>) ファミリーマート、セブン-イレブン ほか、主要プレイガイドなどで取り扱い

※チケットぴあ、ローソンチケット、イープラスで購入のチケットは、すべて引換券です。当日、国際美術展会場にて実券とお引換ください。

お問い合わせ先： あいちトリエンナーレ入場券管理センター TEL.052-952-7113(10:00～18:00 土日祝休み 会期中は無休)
<http://aichitriennale.jp/>

プロデュースオペラ「蝶々夫人」

公演日 9月14日(土)、16日(月・祝)

S席 ¥15,000 A席 ¥12,000 B席 ¥9,000 C席 ¥6,000 D席 ¥3,000(学生¥2,000)

チケット取り扱い

愛知芸術文化センター内プレイガイド TEL.052-972-0430

チケットぴあ TEL.0570-02-9999(Pコード:192-744)

アイ・チケット TEL.0570-00-5310 <http://clanago.com/i-ticket>(座席選択可)

お問い合わせ先： (公財)愛知県文化振興事業団 TEL.052-971-5609(平日9:00～17:30 受付)
<http://www.aac.pref.aichi.jp/sinkou/>

パフォーミングアーツ公演

小ホール公演前期分4公演(ままごと、藤本隆行+白井 剛、やなぎみわ、梅田宏明)発売中
後期分6公演、7月27日(土)10:00より販売開始

チケット取り扱い

愛知芸術文化センター内プレイガイド TEL.052-972-0430

チケットぴあ TEL.0570-02-9999 <http://t.pia.jp/>

●あいちトリエンナーレ公式ホームページ「チケット」に「チケット購入特設サイト」のリンクがあります。そちらからもご購入いただけます。

お問い合わせ先： あいちトリエンナーレ実行委員会事務局 TEL.052-971-6127(平日9:00～17:30受付)
<http://aichitriennale.jp/>

共催・連携事業

【国際交流基金との共催事業】

行事名	開催日
国際シンポジウム「現代ケンテクの日本」	8月11日(日)

【祝祭ウィーク事業】

・会期中に祝祭ウィークを設け(9月30日(月)～10月6日(日)の7日間)、愛知芸術文化センターの大ホール、コンサートホール及び小ホールで、企画公募により選考した14の地元文化芸術団体等と共催で舞台公演を行います。

○ 事業一覧

会場	団体名	公演日	公演名
大ホール	松本道子バレエ団	10月1日(火)	Aichi Triennale 2013「トリプル・ビル」公演 〈レ・シルフィード／火の鳥／ダッタン人の踊り〉
大ホール	名古屋芸術大学	10月3日(木)	あいちトリエンナーレ2013祝祭ウィーク「ショービジネスに乾杯!」
大ホール	Yoko Tsukamoto テアトル・ド・バレエ カンパニー	10月5日(土)	Yoko Tsukamoto テアトル・ド・バレエ カンパニー公演 NEXT SPRING〈オアシス／火の鳥〉
大ホール	ジャズ・ラブ・オーケストラ	10月6日(日)	ジャズ・ラブ・オーケストラと素敵な仲間達
コンサートホール	「NEXT」くりもとようこ&野々村明子	9月30日(月)	くりもとようこ&野々村明子 企画・構成 静かなる大地
コンサートホール	Groupe Créatif K ~ Kae KURACHI & Tamami KODAMA	10月2日(水)	「光の記憶 第二章～KAGUYA～」
コンサートホール	一般社団法人 セントラル愛知交響楽団	10月4日(金)	モーツァルト～3台のグランドピアノの祝典
コンサートホール	長屋弘子	10月5日(土)	あいちの音楽家たちによる“異人たちの響演”
コンサートホール	奥村晃平	10月6日(日)	オペラティックな現代日本歌曲と ブラームス歌曲集「マゲローネのロマンス」演奏会
小ホール	「Re:」製作実行委員会	9月30日(月)	ART IN WONDERLAND「Re:ALICE リ・アリス」
小ホール	SOM企画	10月2日(水)	『サ××ド・オブ・ミュージック』
小ホール	音楽の未来形2013実行委員会	10月3日(木)	音楽の未来形 vol.1～gendai-ongaku ～～新作室内楽・電子音響音楽フェスト～～
小ホール	社団法人現代舞踊協会中部支部	10月5日(土)	コンテンポラリーダンス2013「空間飛行」
小ホール	三代舞踊団	10月6日(日)	Anthology of American Jazz Dance

【芸術大学連携プロジェクト】

・愛知県立芸術大学、名古屋芸術大学、名古屋造形大学が連携し、「大学連携プロジェクト」として、長者町会場にある「アートラボあいち」2・3階で、展覧会を実施します。(入場無料)

・愛知芸術文化センターで、3つの芸術大学の先生方による座学、体験講座を実施します。

○ アートラボあいちでの展覧会

展覧会名	日程
Draw the World—世界を描く	8月9日(金)～9月1日(日)
造形プロセッシング	9月7日(土)～9月29日(日)
Primordial Essence—根源と本質	10月4日(金)～10月27日(日)

※3つの大学を横断して在校生、卒業生を中心とした作品を展示します。

【特別連携事業】

・愛知県内の美術館やホール等において、あいちトリエンナーレ2013と同時期にトリエンナーレのテーマや企画と連携して実施される事業を「特別連携事業」とし、一体的かつ相互に広報展開を図ります。

○ 展覧会

会場	会期	展覧会名
豊田市美術館	9月14日(土)～12月24日(火)	反重力―浮遊 時空旅行 バラレル・ワールド

○ 舞台公演

会場	公演日時	公演団体「公演名」
穂の国とよはし芸術劇場	8月17日(土) 19:00、8月18日(日) 11:00 / 15:00	ままごと「日本の大人」

○ オープンアーキテクチャー

会場	日時	主催団体(連絡先)
名古屋大学(名古屋千種区)	8月20日(火)	クリエイティブ・デザインシティなごや推進事業実行委員会 http://www.creative-nagoya.jp
南山大学 名古屋キャンパス(名古屋市昭和区)	10月6日(日)	
名古屋市公会堂(名古屋市昭和区)	9月19日(木)	名古屋市公会堂指定管理者 愛知県舞台運営事業協同組合 http://www.nagoyashi-kokaido.jp/
半田赤レンガ建物(半田市)	9月21日(土)～23日(月・祝)、9月28日(土)、29日(日)、10月5日(土)、6日(日)	赤煉瓦倶楽部半田、半田市 http://www.city.handa.lg.jp/contents/05030001.html
八丁味噌カクキュー本社事務所・蔵(資料館)(岡崎市)	9月23日(月・祝)	愛知県国登録有形文化財建造物所有者の会 http://www.aichi-tobunkai.org/
田園オフィス／株式会社都工業(豊田市)	9月29日(日)	日本建築学会東海支部(設計計画委員会) http://news-sv.aij.or.jp/tokai/
白雲閣(名古屋市緑区)	10月13日(日)	なごや歴まちびとの会、(公財)名古屋まちづくり公社 http://www.nagoya-rekimachinet.jp/
名古屋テレビ塔(名古屋市中区)	10月19日(土)、20日(日)	ソーシャルタワープロジェクト実行委員会 http://socialtower.jp/

【並行企画事業】

・あいちトリエンナーレ2013と同時期に開催される先端的な現代美術展や舞台芸術を「並行企画事業」として紹介し、一体的かつ相互に広報展開を図ります。

○ 事業一覧

6月25日現在

会場	会期・公演日	展覧会名・公演名
愛知県陶磁美術館	8月3日(土)～9月29日(日)	2013 アジア現代陶芸―新世代の交感展
愛知県立芸術大学芸術資料館他	8月25日(日)～9月8日(日)	国際交流展『なないろ』
愛知県立芸術大学サテライトギャラリー	8月9日(金)～8月19日(月)	グラハム・エラード&ステファン・ジョンストン『EVERYTHING MADE BRONZE』
岡崎市美術博物館	8月17日(土)～10月20日(日)	ユーモアと飛躍 そこにふれる
豊田市美術館	6月8日(土)～9月1日(日)	フランス・ベーコン展
豊田市美術館	7月20日(土)～8月18日(日) 10月12日(土)～10月27日(日)	高橋匡太 一ひかりのプロジェクト@豊田一
碧南市藤井達吉現代美術館	7月17日(水)～9月1日(日)	記憶のモニュメント その軌跡の展開 石黒鏘二展
阿久比町立中央公民館南館	10月1日(火)～10月31日(木)	栗本百合子 異空間プロジェクト「記憶の遊園地」
三重県立美術館	7月13日(土)～9月23日(月・祝)	三沢厚彦 ANIMALS 2013 in 三重
ヤマザキマザック美術館	7月19日(金)～9月29日(日)	夏の思い出 森の夢―不思議ないきものたち―
古川美術館 分館為三郎記念館	8月10日(土)～10月6日(日)	高北幸矢 インスタレーションVol.2『落花、夏の夢』
中京大学アートギャラリー・C・スクエア	9月23日(月・祝)～10月12日(土)	第114回企画 檜橋朝子展『一堀川(horikawa horizon)―』
名古屋芸術大学 アート&デザインセンター	8月10日(土)～9月18日(水)	桑山忠明『Titanium-Art as Space, Space as Art』
七ツ寺共同スタジオ	10月12日(土)～10月14日(月・祝)、 10月17日(木)～10月20日(日)、 10月24日(木)～10月27日(日)	クール・ガイアーベケットの路地裏から―
うりこん劇場	8月10日(土)、8月11日(日)	アルヴィン・スプートニクの深海探検

【パートナーシップ事業】

・民間企業や自治体、地元文化芸術団体等が原則として県内で行う文化芸術事業を「パートナーシップ事業」として募集し、相互に広報協力を行います。

・平成24年8月から募集を開始し、平成25年6月15日現在で250件を決定しています。

企画体制

芸術監督

五十嵐太郎

1967年パリ生まれ。中部大学講師、東北大学大学院助教授を経て、2009年から東北大学大学院教授。
2008年ヴェネツィア・ビエンナーレ国際建築展では、日本館コミッショナーを務めた。
2010年に開催されたあいちトリエンナーレ2010では、長者町企画コンペの選考委員も務めた。
現在、東北大学大学院工学研究科教授(都市・建築学)。

国際美術展(現代美術)

【キュレーター】ルイス・ビッグス、住友文彦、飯田志保子、
拝戸雅彦(愛知県国際芸術祭推進室)
【アーキテクト】武藤 隆
【アシスタントキュレーター】飯田真実、柴田直美、原田真千子、堀江紀子、吉田有里
【アシスタントアーキテクト】山岸 綾
【コーディネーター】かないみぎ、児玉美香、森田恭平
【愛知県美術館】中村史子、塩津青夏
【名古屋市美術館】山田 諭
【愛知県国際芸術祭推進室】清澤暁子、岩手瑞穂、工藤千愛子、斎藤ふみ、堀切春水

映像プログラム

【キュレーター】越後谷卓司(愛知芸術文化センター)
【アシスタントキュレーター】澤 隆志

パフォーマンス

【プロデューサー】小崎哲哉〔統括〕、前田圭蔵、
藤井明子(愛知芸術文化センター)、唐津絵理(愛知芸術文化センター)
【愛知県国際芸術祭推進室】阿部晃久、小林千晴

プロデュースオペラ

【プロデューサー】水野 学(公益財団法人愛知県文化振興事業団)

普及・教育

【コミュニティ・デザイナー】菊池宏子
【エドゥケーター】田中由紀子
【アシスタントエドゥケーター】遠藤安子、大下琴子、福岡寛之
【愛知県美術館】藤島美菜
【公益財団法人愛知県文化振興事業団】小出充訓
【愛知県国際芸術祭推進室】岩野早苗、寺島千絵、田邊陽子

公式デザイン

【公式デザイナー】廣村正彰
(公式デザインチーム) 藤本康一、平井秀和
POWDER DESIGN(松井伸之・喜多紀和・瀬川晃・森田展之)

広報

【PRオフィサー】鈴木潤子
【コーディネーター】青木雅司

オフィシャルグッズ

【アドバイザー】高北幸矢

ボランティア

トリエンナーレの会場運営、ガイドツアーなど。申込者数1,272名(平成25年6月27日現在)。

特別協力／後援／助成／協賛／協力／会場提供／認定

特別協力	国際交流基金	後援	アメリカ大使館／インドネシア大使館
助成	文化庁／独立行政法人日本芸術文化振興会／独立行政法人日本万国博覧会記念機構／Mondriaan Fund(モンドリアン財団)／公益財団法人花王芸術・科学財団／フランス大使館／アンスティチュ・フランセ／アリアンス・フランセーズ愛知フランス協会／公益財団法人セゾン文化財団／公益財団法人福武財団／アジア・カルチュラル・カウンシル／Artis／ドイツ文化センター／一般財団法人東海テレビ国際基金／The Netherlands Film Fund(オランダ映画基金)／Arts Council England／University of Brighton／University of Westminster		
協賛	 <p>株式会社アジオカ／名古屋南口ターナークラブ／一般社団法人愛知県薬剤師会／愛知県私学協会／東和不動産株式会社</p>		
協力	 <p>NECディスプレイソリューションズ株式会社／株式会社東海インタービジョン／株式会社竹中工務店／中部電力株式会社／フクビ化学工業株式会社／名鉄タクシーホールディングス株式会社</p>		
会場提供	岡崎シビコ／神谷善行／喫茶クラウン／畔柳俊二／栄公園振興株式会社／株式会社島本画材／株式会社シモジマ／松應寺／スターネットジャパン株式会社／株式会社セントラルパーク／東京福祉大学名古屋キャンパス／豊島株式会社／名古屋テレビ塔株式会社／丹羽幸株式会社／林八百吉株式会社／春井正親／伏見地下街協同組合／三菱地所株式会社／明治安田生命保険相互会社／名鉄協商株式会社／八木兵株式会社／山本洋品雑貨株式会社／吉田商事株式会社		
認定	公益社団法人企業メセナ協議会		

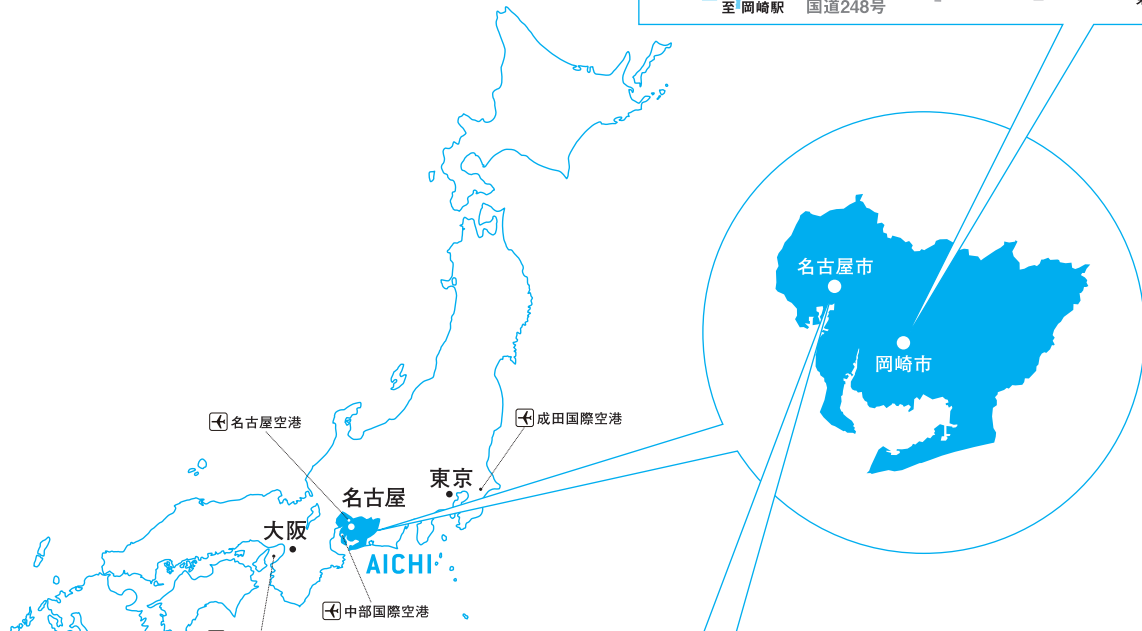
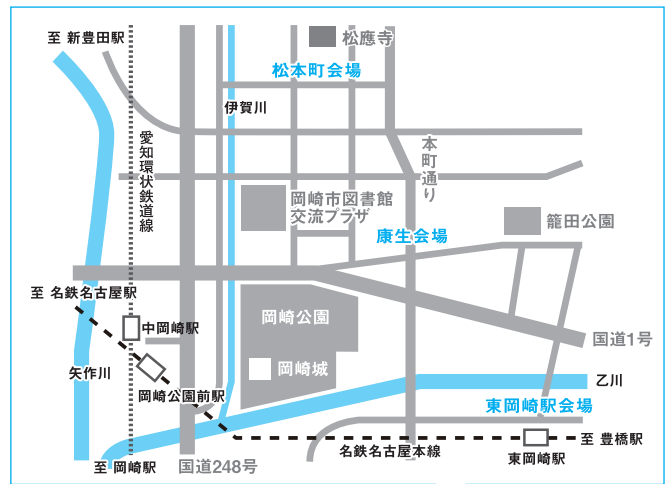
実行委員会組織

運営会議	大村秀章(愛知県知事)／河村たかし(名古屋市長)／高橋治朗(名古屋商工会議所会頭)／三田敏雄(一般社団法人中部経済連合会会長)／細谷孝利(名古屋商工会議所専務理事)／伊藤範久(一般社団法人中部経済連合会専務理事)／小出宣昭(中日新聞社代表取締役社長)／吉川幸司(日本放送協会名古屋放送局局長)／櫻井友行(独立行政法人国際交流基金理事)／神田真秋(愛知芸術文化センター総長)／寺澤義則(愛知県民生活部長)／新開輝夫(名古屋市民経済局長)／中野秀秋(公益財団法人愛知県文化振興事業団理事長)／平野幸久(公益財団法人名古屋文化振興事業団理事長)／馬場駿吉(名古屋ポスト美術館館長)／松村公嗣(愛知県立芸術大学学長)／高階秀爾(大原美術館館長)／峯村敏明(多摩美術大学名誉教授)／北爪道夫(愛知県立芸術大学名誉教授)／野田邦弘(鳥取大学教授)
顧問	久保田浩文(愛知県議会議長)／藤田和秀(名古屋市長)／堀元(愛知県市長会会長)／初山芳輝(愛知県町村会会長)
芸術顧問	建島哲(京都市立芸術大学学長)
参与	伊藤勝人(愛知県議会議務委員委員長)／金庭宜雄(名古屋市長)／山本孝義(中京テレビ放送代表取締役社長)／大石幼一(中部日本放送代表取締役社長)／小谷勝(テレビ愛知代表取締役社長)／内田優(東海テレビ放送代表取締役社長)／荒木高伸(名古屋テレビ放送代表取締役社長)／横山宏(朝日新聞名古屋本社代表)／泉宣道(日本経済新聞社専務執行役員名古屋支社代表)／渡会文化(毎日新聞社専務執行役員中部代表)／尾崎和典(読売新聞東京本社執行役員中部支社社長)／高橋肇(名古屋音楽大学学長)／竹本義明(名古屋芸術大学学長)／小林亮介(名古屋造形大学学長)／岡田豊(愛知県小中学校長会会長)／岩間博(愛知県公立高等学校長会会長)／辻正人(名古屋市立小中学校長会会長)／石田正城(愛知県私学協会会長)／松尾稔(公益財団法人科学技術交流財団理事長)／藤井知昭(愛知芸術文化協会顧問)／村田真宏(愛知県美術館館長)／松永恒裕(名古屋美術館館長)
アドバイザー	伊東正伸(独立行政法人国際交流基金文化事業部企画役)
監事	加藤純利／中谷光孝
幹事	岩田道人(愛知県民生活部文化芸術課長)／山本正雄(名古屋市民経済局文化観光部長)／内川尚一(名古屋商工会議所常務理事・事務局長)／村田純一(一般社団法人中部経済連合会企画部長)／三輪幸夫(愛知芸術文化センター管理部長)／鈴木滋夫(公益財団法人愛知県文化振興事業団常務理事)

アクセス

交通機関のご案内

- 名古屋～東京間は新幹線(のぞみ)約1時間40分
- 名古屋～大阪間は 〳 約50分
- 名古屋～岡崎市内へは鉄道(名古屋鉄道)約30分



お問い合わせ

あいちトリエンナーレ実行委員会
 〒461-8525 愛知県名古屋市東区東桜1-13-2 愛知芸術文化センター6階
 TEL:052-971-6111 FAX:052-971-6115 E-mail:geijutsusai@pref.aichi.lg.jp